

学習会報告2026

日本リハ栄養学会

本年度に行われた日本リハ栄養学会による2つの学習会の報告です。



来年もあります！

●リハ栄養研究基礎講座

2026年5月30日（オンライン）

テーマ：臨床研究事始め

内容：これから臨床研究を始めたい、始めてみたけど不安があるといった初学者向けの講座です。どのように研究を計画して発表までこぎつけるかを半日かけて学習しました。

●リハ栄養研究デザイン学習会

2026年7月4日、5日（NTT東日本関東病院）

テーマ：臨床研究の基本から具体的な計画の立案

講義：CQ～研究実施までの流れ、研究デザインと初学者が陥りやすいピットフォール、文献検索、統計解析、研究倫理

グループワーク：グループに分かれて個々のPECOをディスカッションしました。研究経験豊富なファシリテーターがサポートし、希望者には研修会終了後も研究サポートを継続しています。

参加記（参加者より）

リハ栄養研究基礎講座とリハ栄養研究デザイン学習会に参加して最も印象に残ったのは、研究は思っていたよりも臨床のすぐそばにあり、自分にも手の届く距離にあると実感できたことです。

私は訪問リハビリテーションの現場で疑問を抱きながらも、それを研究として形にする方法が分からず、研究は大学や研究機関に所属する人が行うものだと諦めていました。基礎講座では、臨床疑問をリサーチクエスションやPECOに整理する方法を学び、デザイン学習会では、先行研究や評価尺度を検討しながら、研究計画を具体化することができました。

講師の先生方の説明は分かりやすく、初歩的な質問や迷いも受け止めてもらえる、心理的安全性の高い雰囲気がありました。また、第一線で活躍する先生方と直接つながり、同じ時間を過ごした参加者の皆さんと出会えたことも、大きな財産です。学習会終了後もSlackを通じて研究の相談に乗っていただけのため、学びが一度きりで終わらず、研究を進める支えになっています。

研究に関心があっても、身近に相談できるメンターがいない方こそ、二つの学習会に参加してほしいと思います。臨床の小さな疑問が研究の種となり、伴走してくれる人や仲間との出会いによって、その種を研究へ育てられることを実感しました。

（原田病院 理学療法士 高尾優一さん）

開催記（担当者より）

両方の学習会の企画、講師、ファシリテーターとして参加させて頂きました。どちらの学習会も参加者の方が熱心でとても良い少人数での学習環境の中で臨床研究を学んでいただけたと思います。

これまでと同様、新たな臨床研究が生まれる事が期待されます。臨床研究を学べる「濃密な」学習会である事を目指して来年も開催予定です。皆様のご参加をお待ちしています。

リハ栄養研究デザイン学習会



日本リハビリテーション栄養学会 森隆志